

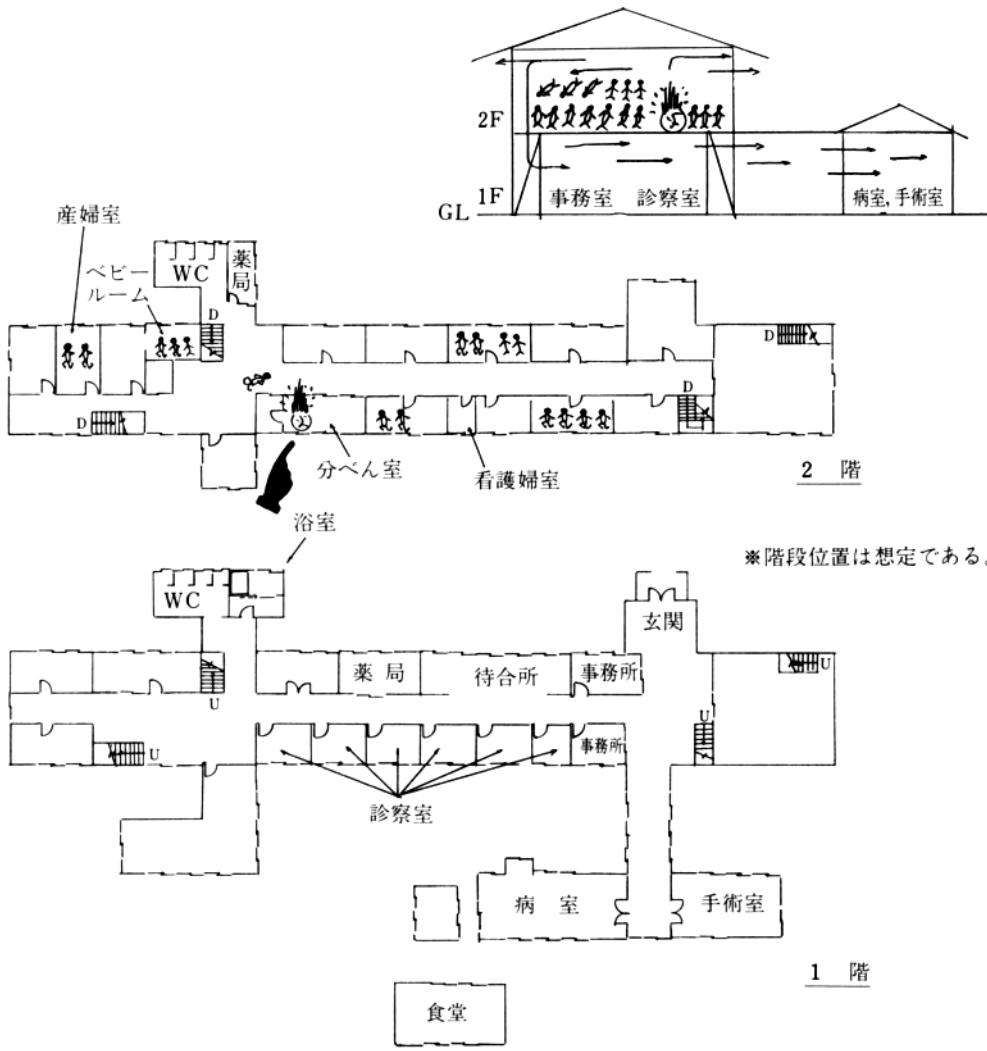
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積) 延 面 積	死 傷 者
衣笠病院  神奈川県横須賀市 小矢部町222	病 院  (6)イ	昭和35年1月6日	木造 Ⅲ	④・半・部・小	死者 16名 傷者 0名 ( )
		出火21時00分ころ 覚知21時05分 覚知別 望楼発見 鎮火21時55分	建 1,538m <sup>2</sup> 延 2,566m <sup>2</sup>	2,566m <sup>2</sup> (100%)	

I 火災概要							
① 概 要	この火災は、ストーブの整備不良により出火し、老朽裸木造の病院に多数の入院患者がいたことと、病院宿直者の訓練不足による避難誘導の不適切などにより、患者16名もの焼死者を出し全焼するという惨事となった。						
② 階 別 状 況	階	床面積 m <sup>2</sup>	焼損床面積 m <sup>2</sup>	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等 消防用設備等
							屋内階段 4箇所  屋外階段 1箇所
	②	1,028	1,028	病 室	81	16	① ②
	1	1,538	1,538	診療室	5		
	合計	2,566	2,566		86	16	
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) 2階中央分娩室から出火 ○出火室には、医療機械のほか、重油ストーブが採暖のため設けられていた。 ○出火直前まで、女性1名が分娩室にいたが、ストーブの修理道具を取りに室を出ていた。					④ 出 火 原 因	重油ストーブの整備不良による出火と推定される。 分娩室にいたA子が重油ストーブを点火したが、油の出が悪いので針金でつつこうと思い、針金を取りに部屋を出て、帰ってみると一面火の海であった。

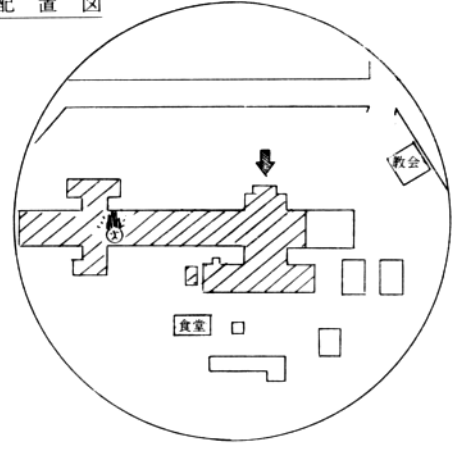
⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(出火部位) 2階分婉室</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;">ストーブの燃料である重油により、火面が拡大し、木造の壁、天井に燃え移る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;">間仕切壁及び天井裏から四方に延焼拡大した</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">出火室の床の燃え抜け及び近くにあった階段から1階へと延焼拡大した</div> </div>	
	<p>2階分婉室からの火炎は、またたく間に分婉室を炎に包み、木造の壁、天井から天井裏に燃え移って、防火壁等が皆無であったこともあり急速に2階の各病室へ延焼していき、階段から1階へと拡大していった。一方、分婉室の床面は重油が燃えたため、早期に床が燃え落ち、1階の天井裏に延焼し各室へと拡大した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延焼拡大した主な理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老朽した裸木造の建物であり、かつ、天井裏に防火壁を設ける等の措置もなされていなかったため、燃焼速度が急激であった。</li> <li>○ 床板にリノリウム油を塗布してあったため、延焼速度を助長した。</li> </ul> </li> <li>○ 煙の伝播経路 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2階分婉室からの濃煙は、中廊下及び天井裏を介して平面的に拡散し、階段から1階に流動するとともに、2階床の燃え落ちに伴い1階天井裏を急速に伝播し充滿していった。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>II 火災建物概要</b>		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (竣工) 昭和18年 月 日 ( ) 昭和 年 月 日	
管 理 状 況	<b>② 罅 穴 の 状 況</b>	<b>③ 防 火 管 理 状 況</b>
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> <hr/> 裸木造であり区画はない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防計画は作成していたが、単に作成したという程度で具体性に欠けていた。</li> <li>○ 年2～3回の訓練を実施しているが、参加者は極く少数で実効性は全くなかった。</li> <li>○ 査察は年2～3回実施され、多くの不良箇所を指摘されていたが、一部の電気関係を除き改修されていなかった。</li> </ul>
管 理 状 況	<b>④ 防 火 区 画 等</b>	<b>⑤ 消 防 用 設 備 等</b>
	防火的な区画は何もなく、天井裏の防火壁等もなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 屋内消火栓が設けられていたが、ホースの老朽等により全くの使用不能であった。</li> <li>○ 消火器は全て未検定品であり、かつ設置数も不足していた。</li> </ul>

III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (分娩室にいた女性) ○発見の動機 (室に戻ってみると一面火の海となっていた) ○発見後の行動 (騒ぐとともに消火しようとした)</p> <hr/> <p>2階分娩室にいたA子(34才)が重油ストーブを修理するため、針金を取りに行き、帰ってみると分娩室は一面火の海であったため、叫び声をあげて騒ぎ、消火器により消火しようとした。</p>					
② 通報状況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (病院側からの通報者不明) 発見後約( )分          しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>消火覚知の第1報は望楼発見(21時05分)によるものであり、病院側からの通報はその後1分を経過してからなされている。</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消火した</td> <td style="width: 35%;">           成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/>            ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/>            ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/>            ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 50%; vertical-align: top;">           (理由又は状況)            火災発見者が消火器により消火しようとしたが、出火室はすでに火の海となっており、効果は全くなかった。         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td>           ○消火時期 <input type="checkbox"/>            ○消火困難性 <input type="checkbox"/>            ○消火方法 <input type="checkbox"/>            ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 火災発見者が消火器により消火しようとしたが、出火室はすでに火の海となっており、効果は全くなかった。	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 火災発見者が消火器により消火しようとしたが、出火室はすでに火の海となっており、効果は全くなかった。				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○消火隊の進入路が狭益であるため、消防車の進入が困難となり、火災初期の消防力の集中に支障をきたした。          ○出火建物近くにある水利は2隊しか使用できず、他は離れていたため、注水されるまでの時間が相当かかった。</p>					

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項
⑤ 避 難 状 況	○階段を利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> ( 人) ○救 助 <input type="checkbox"/> ( 人) ○その他( ) <input type="checkbox"/> ( 人)	○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
	資料不足につき不明	
⑥ 死 者 の 状 況	健康人 2名 (泥酔者 名) 要保護者 14名 [乳幼児 3名 高齢者 4名 身体不 自由者 名 病人 7名]	避難上支障となった事項 ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
	細部不明 死亡者内訳 (看護婦 1名 付添人 1名 患者 14名 (老女4名, 新産児3名含む))	
<b>IV 問題点・教訓等</b>		
1. 消防計画や避難訓練等は形式的で実効性のないものであり、又、防火に対する認識が薄いため、病院宿直者による避難誘導が適切に行われなかった。 2. 老朽した裸木造の建物であるにもかかわらず、防火壁等による防火的な措置は何ら考慮されていなかった。 3. 挨拶のため、床にリノリウム油を塗布していたことが延焼拡大を助長し、かつ、煙の発生を大きくして避難及び救出に支障をきたした。 4. 老朽木造で、かつ、多人数を収容する病院での火気の取扱い及び病室が2階にある事等安全面での検討が必要である。		



配置図



- 死者の内訳
- 看護婦 1名
  - 付添人 1名
  - 内科患者 4名(老女)
  - 新生児 3名
  - 産婦 2名
  - 不明 5名
  - 計 16名

※新生児・産婦の死者以外は、想定位置にて示したもの、又性別についても想定である。